

推進委員会活動状況について

今年度の活動状況について

①活動状況表

第1回推進委員会（7/19）以降の主な活動状況は以下のとおり。

活動内容	2023									2024		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
CN化推進委員会				第1回 7/19				勉強会 11/17		第2回 1/16		
生産プロセス部会		5/24 合同 準備会							第4回 12/15	各部会 適宜開催予定		
副生ガス利活用検討部会								第3回 12/15				
ケミカルリサイクル連携部会			第1回 6/30									
水素・アンモニア拠点化検討部会			第1回 6/30				第2回 10/6	第3回 12/21				
共同インフラ設備連携検討部会							第1回 10/6					
広域・他業種連携部会								第1回 12/21				
参考：中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議 における普及活動WG (三重県・四日市港管理組合・四日市市)							WS 10/22		WS 12/10		セミナー 2/19	

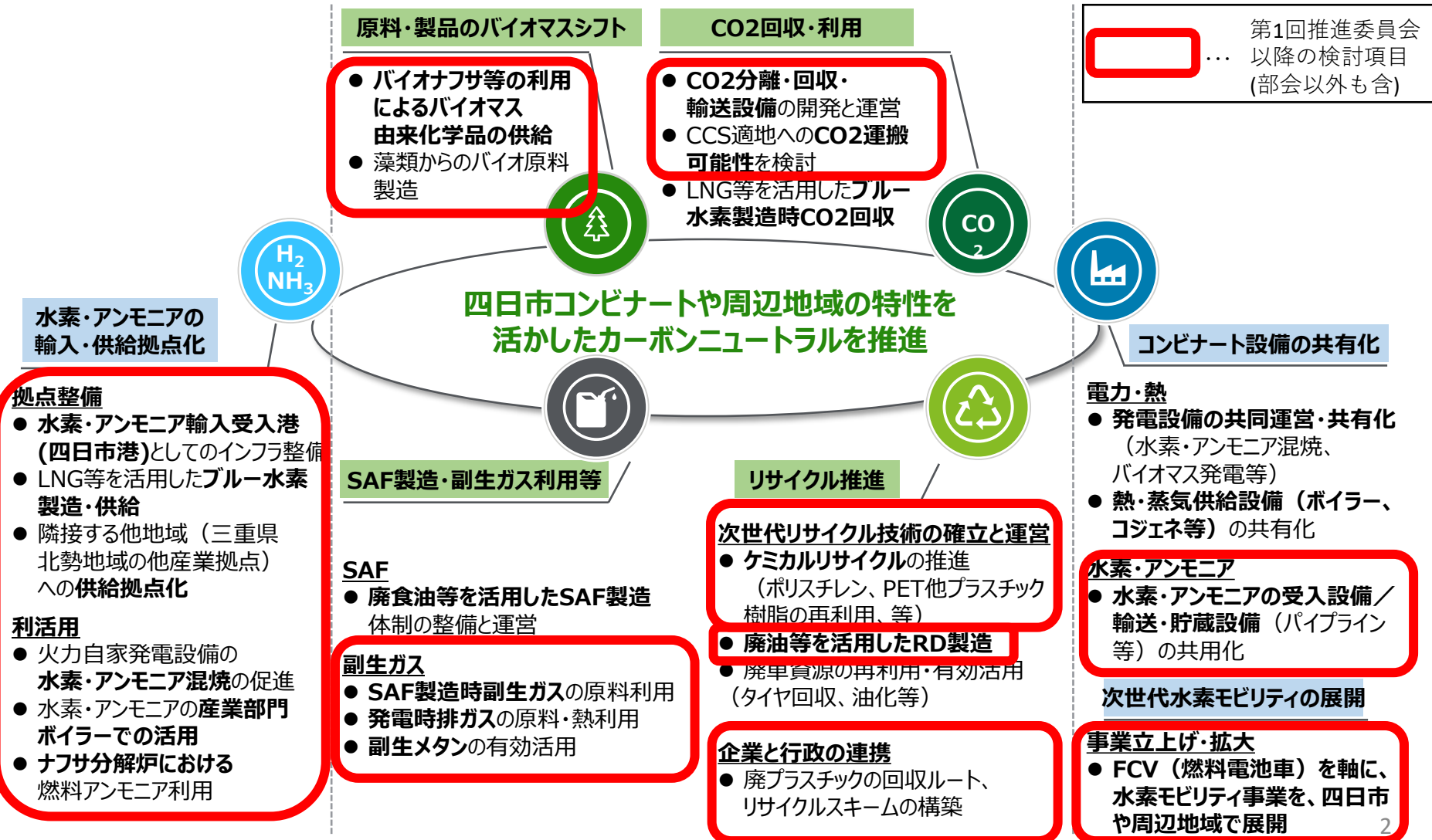
2050年の四日市コンビナートの将来ビジョン(グランドデザイン)

コンビナート及び地域の特性を活かしつつ、カーボンニュートラル施策を広く推進する

エネルギーの脱炭素化・低炭素化

化学品製造プロセスの脱炭素化・低炭素化

産業集積地の基盤整備／産業誘致



今年度の活動状況について

②部会活動概要

第1回推進委員会（7/19）以降の主な部会活動概要は以下のとおり。

部会名	主な活動（議論）内容	開催日
生産プロセス部会	・バイオマス燃料の原料となる廃食油に関する事前調査結果の共有および今後の部会活動について	12/15
副生ガス利活用検討部会	・新エネルギー燃料への転換に伴う副生ガス利活用についての需給マッチングの精度向上	12/15
水素・アンモニア拠点化検討部会	(第2回) ・背後圏調査およびコンビナートにおける需要見込量調査結果の共有 ・中部圏水素利用協議会（トヨタ自動車様）、中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議アンモニアWG（JERA様）との意見交換	(第2回) 10/6
	(第3回) ・水素・アンモニアの供給方法の検討状況報告 ・今後の部会運営について（国の公募に向けた検討）	(第3回) 12/21
共同インフラ設備連携検討部会	・（部会員およびアドバイザーによる）CCUSについての基礎知識の取得 ・CO2回収需要量の可能性調査について	10/6
広域・他業種連携部会	・コンビナート外企業による連携提案および意見交換	12/21

③勉強会概要

11/17（金）に四日市市地場産業振興センター6階ホールにて、四日市コンビナート先進化検討会との合同勉強会として開催。勉強会概要は以下のとおり。部会参加メンバーを中心に、四日市コンビナート先進化検討会委員と合わせて計約50名が参加。

四日市コンビナートカーボンニュートラル化推進委員会テーマ

タイトル：「水素・アンモニア利活用の国内外の動向」

最近の拠点整備に関する動向やGXリーグ、米国のインダストリーハブ等の関連内容について

講師：デロイトトーマツコンサルティング合同会社

ディレクター 吉見 望 氏

タイトル：「カーボンニュートラル達成に向けたCO₂分離回収・技術開発の動向とRITEの取り組み」

最近の国内外のCO₂分離回収技術開発の動向とRITEにおける研究開発の状況について

講師：公益財団法人 地球環境産業技術研究機構(RITE)

化学研究グループリーダー・主席研究員 余語 克則 氏

(参考)

四日市コンビナート先進化検討会テーマ

タイトル：「APM(Asset Performance Management)の効果について」

APMの概要と、日本国外導入事例を参考にAPMのビジネス・ベネフィットを説明。また、日本国内において、コスモ石油のAPMの取り組みについて発表。

講師：GE Digital

プリセールスソリューションアーキテクト・APAC アティリオ オマール 氏

コスモ石油株式会社 四日市製油所
日常保全課長 林 智希 氏

④参考：中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議における普及活動WG

2050年のカーボンニュートラル達成に向け、新たなエネルギー資源として期待されている水素及びアンモニアの社会実装を実現するため、中部圏の自治体や民間企業、経済団体等が参画する「中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議」（以下、「推進会議」という。）に三重県、四日市港管理組合、四日市市等が参画しており、水素及びアンモニアのサプライチェーン構築や利活用の促進に向けた取組を推進。

推進会議による水素及びアンモニアの普及啓発事業として、令和5年10月22日（日）、12月10日（日）に小学生等を対象とした「水素エネルギーで遊ぼう」ワークショップ及び展示会を開催。

◆Yokkaichi Baura ミーティング

日 時：令和5年10月22日（日）

第1回 11:00～11:45

第2回 13:00～13:45

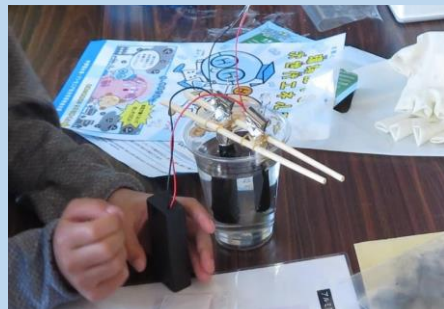
第3回 15:00～15:45

会 場：四日市港四日市地区納屋防災緑地

内 容：実験キットを用いて、燃料電池や水素発電等を体験しながら、水素・アンモニアについて学習

- ① 備長炭発電の組立て
- ② チラシを使用して地球温暖化と水素の関わりについて説明
- ③ 水素カーを使用して、水素で動く様子を見ながら燃料電池の仕組みを説明
- ④ 水素ロケットを飛ばす体験を実施
- ⑤ 備長炭発電の通電実験
- ⑥ 水素についておさらい

参加人数：各回小学生等20名と保護者（全回満員）



◆みえ環境フェア

日 時：令和5年12月10日（日）

第1回 10:30～11:15

第2回 12:00～12:45

第3回 13:30～14:15

会 場：メッセウイング・みえ

内 容：実験キットを用いて、燃料電池や水素発電等を体験しながら、水素・アンモニアについて学習
※①～⑥は同左

展示会：推進会議の取組内容、方向性をパネルにて掲載するとともに、チラシを配布し、普及啓発を行った。

参加人数：各回小学生等16名と保護者（全回満員）

併 催：三重県、いなべ市、みえ水素ステーション合同会社、三重トヨタ自動車（株）と連携し、FCEV、水素タンク等も展示

